



第1講座 プロジェクト管理技法の向上

1. 概要

プロジェクトマネージャとして必要なプロジェクトに対する基本的な概念の把握、プロジェクト計画・運営・完了評価での留意ポイント・必要技法の紹介を行う。また、グループ演習により理論と経験の結び付けを行う。

本年度のポイント: 基本的な理解度を深めるために、アーンドバリューグラフや品質管理グラフからの状況把握演習を行います。また、開発方法論の概要理解に XP 開発についても簡単に触れ、新しい方法論に対する認識の向上をはかる。

2. 対象者

- ・システム開発の初級リーダー・サブリーダー
- ・近々にリーダー職に付く開発担当者
- ・経験は豊富だが基礎理論の補強を希望するリーダー

3. 目標

- ・経営的な視点を持ったプロジェクト管理ができる
- ・基本的な論理に基づいた効果的なプロジェクト管理ができる
- ・プロセス成熟度の向上を目指すプロジェクト管理の活動が継続できるようになる

4. コース内容

1日目	2日目
■プロジェクトマネジメントの基本 (1) プロジェクトとは (2) プロジェクトマネジメントの目的 (3) 経営的視点から見たプロジェクトマネジメント (4) プロセス成熟度を意識した運営 【演習】 ・プロセス成熟度判定 ■プロジェクト計画策定の基礎 (1) プロジェクト管理の知識体系 (2) プロジェクト計画策定時の考え方 (3) スケジューリングの仕方 (4) スケジュールの短縮法 ■組織要員計画の基本的な考え方 (1) プロジェクト組織 (2) リソースの割り当て (3) コミュニケーション計画で必要なこと ■リスク管理計画 (1) リスク管理計画に必要な事項 (2) リスク対応策と策定法 ■管理指標 (1) 管理指標がなぜ必要か (2) プロジェクトを管理するための指標とは 【演習】 ・WBS 作成とリスク対策	■プロジェクト運営管理 (1) 代表的な開発手法とその管理ポイント (2) 代表的進捗管理ツール (3) 進捗管理指標 (4) リスクへの対応 【演習】 ・アーンドバリューグラフからの判断 ■品質管理 (1) 品質とは (2) 品質特性 (3) 品質のマネジメントポイント (4) レビューにおける品質管理 (5) テストにおける品質管理 【演習】 ・品質管理グラフからの判断 ■プロジェクト完了評価 (1) なぜプロジェクトの完了評価が必要なのか (2) 完了評価のポイント 【演習】 ・問題の発見と対応策の策定

5. 講師

(株)アイティ・アシスト 小野山 康憲 氏

6. 受講料 会 員 5,500円（うち消費税 500 円）（生産性向上支援訓練委託事業対象）
非会員 5,500円（うち消費税 500 円）（生産性向上支援訓練委託事業対象）

7. 開催方法 リモート研修(Zoom にて実施)

8. 実施日時(募集人数:15~20名程度)

実施日程	開講時間
9月16日(水)	9:00~17:00
9月17日(木)	9:00~17:00



第2講座 ビジネス現場における交渉力

～顧客と価値を共創するためのコミュニケーション&ネゴシエーション～

1. 概要

ビジネスの現場では、相手と接する時間の中で生産的なやり取りをしていくことが求められる。こうした対応力は持って生まれた性格によるものではなく、必要なビジネススキルの習得によって高まる対応能力である。この研修では、あえて職制にこだわることなく顧客や交渉相手との合意形成をスムーズに図るため、要望の整理、利害調整、信頼構築を体系的に学び現場で成果を生む“協働の交渉力”を身につける。

2. 対象者 初任層・中堅層（※職制に関係なく参加してほしい内容です。）

3. 目標

- ・現場で直面する「交渉の場面」を可視化し、体系的に学ぶ。
- ・BATNA・ZOPAなどの交渉理論を、現場の意思決定に応用する。

4. コース内容

1日目	2日目
■オリエンテーション ・「交渉」で苦手と思う行為は何ですか？ ・このセミナーで学ぶ目標を決める ■ビジネスネゴシエーション ・「交渉」と「折衝」 ・あなたがネゴシエーションする場面とは ・交渉のプロセス ■BATNを想定した交渉術 ・BATNとは ・BATNを持つメリット ・「留保価値」という概念 ・ZOPAとは ■やってはいけない交渉 ・ボルウェア交渉 ・痛み分け交渉 ■1日のまとめ ・本日の振り返り	■交渉のプロセス ・ケーススタディに沿って交渉計画を立てる ・GD後に、自分の計画を見直す ・日常で交渉力を使う場面の交渉計画を立てる ・GD後に、自分の計画を見直す ■交渉のロールプレイング ・3～4人グループでロールプレイングとフィードバックを繰り返す ・顧客の要望をはじめ、職制等の違いによる役割の違いを理解しながら、互いの視点を踏まえた現実的な交渉とはどのようなものかを体感していく ■まとめ ・これから身につけていくスキル ・自分育成計画立案

5. 講師 有限会社アベレ 蛸原 恵子氏

6. 受講料 会 員 5,500円（うち消費税 500円）（生産性向上支援訓練委託事業対象）
非会員 5,500円（うち消費税 500円）（生産性向上支援訓練委託事業対象）

7. 開催方法 リモート研修（Zoomにて実施）

8. 実施日時（募集人数：15～20名）

実施日程	開講時間
10月7日（水）	9:00～17:00
10月8日（木）	9:00～17:00

第3講座 ソフトウェア・エンジニアリング(レビュー)

1. 概要

ソフトウェア・エンジニアリングとは何か？システム開発の現場で必要とされるソフトウェア・エンジニアリングの中から、レビューについて、すぐに使える基本的な考え方と、レビューに役立つエンジニアの視点を修得します。

2. 対象者
- ・新入社員の基礎教育が完了している若手システム開発者
 - ・システム開発の初級リーダー・サブリーダー
 - ・要件定義や設計書を評価確認する立場の方

3. 目標
- ・要求工学、品質工学に対する重要性を理解し、現場に必要なエンジニアの視点を身につける。
 - ・欠陥除去活動であるレビューの視点を養い、開発現場へ適用できるようになる。
 - ・ソフトウェア・エンジニアリングに興味を持ち、能動的に学べるようになる。

4. コース内容

1日目	2日目
■ソフトウェア・エンジニアリング概論 1)ソフトウェア・エンジニアリングとは 2)エンジニアリングとサイエンスの違い 3)現場への適用 Practice 現場で語られる品質に関する事実 ■品質エンジニアリング概論 1)品質とは 2)ソフトウェア・エンジニアリングにおける品質 3)ユーザ要求への適合性 4)欠陥と欠陥除去活動(レビューとテストの違い) Practice レビュー効果 ■要求エンジニアリング概論 1)要求とは 2)要求エンジニアリングの How to 3)要件定義で盛り込む品質特性 Practice 要件定義の欠陥検出 ■レビュー技術 1)レビューとは(レビューの心得) 2)各種レビュー技法の概観 3)設計レビューでの勘所 4)品質トレーサビリティ	【欠陥検出演習 Practice】仕様の検証 ・技術的観点 ・値の定義 ・適合性の確認 【欠陥検出演習1】要求仕様中の欠陥検出 ・合目的性の確認 ・ユーザビリティの欠陥検出 ・定量定義の妥当性確認 【欠陥検出演習2】外部設計書 ・設計書内の整合性 ・ユーザビリティの欠陥検出 ・使用検討不足の検出 【欠陥検出演習3】詳細設計書 ・外部設計書との整合性 ・設計書内の整合性 ・使用不備、検討不足の検出

5. 講師 (株)アイティ・アシスト 戸室 佳代子 氏

6. 受講料 会員 20,000円 非会員 30,000円

7. 開催方法 リモート研修(Zoomにて実施)

8. 実施日時(募集人数:25~30名程度)

実施日程	開講時間
10月14日(水)	9:00~17:00
10月15日(木)	9:00~17:00

第4講座 ソフトウェア・エンジニアリング(テスト)

1. 概要

ソフトウェア・エンジニアリングとは何か？システム開発の現場で必要とされるソフトウェア・エンジニアリングの中から、テストについて、基本的な考え方と手法を修得します。また、テストに役立つエンジニアの視点を修得します。

2. 対象者
- ・新入社員の基礎教育が完了している若手システム開発者
 - ・システム開発の初級リーダー・サブリーダー

3. 目標
- ・要求工学、品質工学に対する重要性を理解し、現場で必要なエンジニアの視点を身につける。
 - ・欠陥除去活動であるテスト設計の視点を養い、開発現場へ適用できるようになる。
 - ・ソフトウェア・エンジニアリングに興味を持ち、能動的に学べるようになる。

4. コース内容

1日目	2日目
■ソフトウェア・エンジニアリングの重要性 1)ソフトウェア・エンジニアリングとは 2)現場への適用 Practice 現場で語られるテストに関する事実 ■品質エンジニアリング概論 1)ソフトウェア・エンジニアリングにおける品質 2)ユーザ要求への適合性 3)要件定義で盛り込む品質特性 ■テスト技術 1)テストとは 2)コードレビュー 3)単体テストの技法 4)結合テストの技法 5)テスト設計と設計フィードバック 6)デバッグに必要な「感性」と「視点」 Practice 単体テストの技法、テスト目的他	【テスト設計演習 Practice】 ・運用要件と合目的性 【テスト設計演習1】 単体テスト設計 ・限界値分析 【テスト設計演習2】 単体テスト設計 ・入力系画面のテスト設計 【テスト設計演習3】 単体テスト設計 ・カバレッジ 【テスト設計演習4】 仕様変更のテスト設計 ・レグレッションテスト 【テスト設計演習5】 ・テストケースの再利用 ・設計フィードバック

5. 講師 (株)アイティ・アシスト 戸室 佳代子 氏

6. 受講料 会員 20,000円 非会員 30,000円

7. 開催方法 リモート研修(Zoom にて実施)

8. 実施日時(募集人数:25~30名程度)

実施日程	開講時間
11月11日(水)	9:00~17:00
11月12日(木)	9:00~17:00